



## 人との繋がりを大切に。



### ヘアメイクアーティスト・ネイリスト 鈴木純子さん

女の子なら好きな人も多い、おしゃれには欠かせないヘアメイク・ネイル。

今回はお客様のネイルやマッサージ、芸能人のヘアメイクを担当するなど幅広く活躍している

鈴木純子さんに「ヘアメイクアーティスト・ネイリスト」という職業のことや、今の職業に就くまでの経緯をお聞きしました。



まず、今の仕事をやりたいと考えたことについてお聞きしました。

—この仕事に興味を持ったきっかけを教えてくださいませんか。

まず一つはミーハーな気持ちからでした。私が高校生の時当時流行っていたドラマでヘアメイクさんとスタイリストさんが出ているものがあって、当時はその二つが憧れの職業一位、二位だったので私もやってみたいと思ったこと。

もう一つは自分のコンプレックスであった肌荒れを改善したいという思いからです。美容にも興味があったし、マニキュアも好きだったのでヘアメイクアーティストになれなくても何か美容に携われる仕事があればいいなと思ったので。

まあ、一番大きいのはミーハーな気持ち。テレビ業界の仕事などでタレントさんや芸能人の方に会ってみたいと思っていました。(笑)

—今の職業になりたいと考えてから意識するようになったこと、行動したことはありますか？

マニキュアを集めました。それを自分で塗ってみたり、美容院に行った際にパーマなどの方法を熱心に美容師さんに聞いてみたり、特に商品には興味があったので化粧品をそろえてみたり、メイクしたり・・・あとは雑誌を読んで、このタレントさんの顔はどうだったか、またはヘアメイクさんがやっているこのヘアメイクはどうだったかを意識して見ていました。

次に中高生の頃のことや今までの経緯を鈴木さんに振り返ってもらいました。

### —中高生の頃鈴木さんは将来について何を考えていましたか？

まだその時期はとても漠然としていました。それでも中学から高校に進学するときには美容師になれたらいいな、とは思っていました。しかし、高校生になると次第に美容師ではなくヘアメイクアーティストになりたいと思いはじめ、高校三年生の時の進路を考えるとときにはヘアメイクの専門学校への進学を考えていました。

### —大学に行こうと考えたことはなかったのですか？

ずっと美容系の専門学校に行きたいと考えていたので、大学に行こうかなと迷ったことはありませんでした。しかし高校三年生の時の進路を決める時期に私が交通事故に遭ってしまって、その影響で出願が間に合わなくて。やむなく思いとは全く異なる英語の専門学校に行くことになりました。半年間は通っていたんだけど、やっぱりヘアメイクがやりたいと思ってやめちゃいました(笑)

### —では、そこから今の仕事に至るまでどのような経緯だったのですか？

英語の専門学校をやめた後は自分でお金を貯めてヘアメイクの専門学校に行きました。

卒業した後は専門学校時代に担任講師だった田中宥久子（ゆくこ）さんという先生が講師をやめてフリーで活動するというので、私もアシスタントとして約二年間その先生のもとで働いていました。（のちの造顔マッサージの田中宥久子氏）

その後ヘアメイクだけで食べていけるのか不安になった時期があったのですが、アシスタント時代に仲良くなった仕事関係の人達や田中さんからお仕事を頂けるようになったので、ヘアメイクのお仕事を続ける事にしました。30歳の時に結婚をしたのですが、その時長い付き合いであったヘアメイク兼ネイリストの友人（現みみジュ・コピーヌのオーナー）に「ネイル面白いよ、やってみない？」と誘われ、そこで私は結婚という区切りのいい機会に始めてみようと思い、ヘアメイクの仕事しながらネイルの学校に一年間ほど通いました。その後、資格は取れたのですが子供ができたので、その友人とネイルサロンとして始めたのは、出産してから2, 3年後でした。

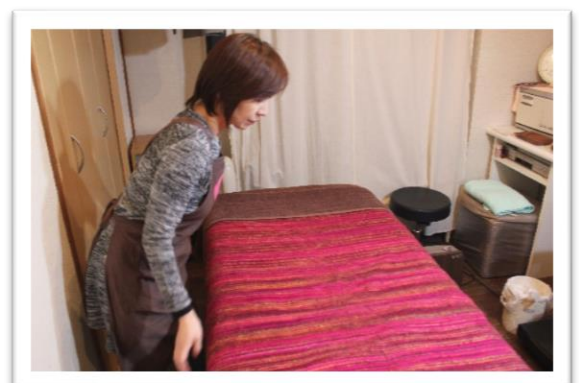
それから約10年後、フットマッサージなどのリフレクソロジーも取り入れたいなと思い、またマッサージの学校へ半年間習いに行きました。元々フットマッサージだけの予定だったのですが、その学校が全身マッサージを教えているところだったので、フットだけでなく全身できるようになりました(笑)

なので、今のお店ではネイル、足のマッサージだけでなく、全身のマッサージもやらせていただいています。

### —今までに色々な学校に行かれたのですね。

そうですね、ヘアメイク、ネイル、マッサージと、色々な学校に行きました(笑)

ネイルとマッサージに関しては毎日ちゃんと行かなければならない学校ではなく、仕事をしながらでも行くことが出来たので諦めずに続けられたのかな、と思っています。





これは、鈴木さんがサロンでお客様にマッサージをする際に使用する  
(←) ソファと (↑) ベッド

さらに今のお仕事についてお聞きしました。

### —今のお仕事の1日の流れについて教えてください。

色々な仕事をしているのでその日によって全然違うのですが、基本的にはお客様の予約に合わせてスケジュールを組んでいます。例えば、朝10時にネイルのお客様を施術して、午後から別のお客様にトリートメント（マッサージ）をしたり、またはヘアメイクの仕事を朝からやって、夕方四時ごろに終わって夜の七時半からお店でネイルの施術をしたり。

全ての仕事が終わる時間は毎日変わります。お店は完全予約制なので予約がある時間しか開けていないので、半日で終わる日もあれば夕方に終わる日もあり、仕事が夜だけの日もあります。

空いた時間にはママ友がやっているダンススタジオやヨガで体を動かしたり、お店で使う物の買い出しなどにあてています。

### —休みは月にどれくらいあるのですか？

仕事次第ですが、月に多くて10日、少なくとも5日や3日くらいですかね、基本的には10日ぐらいかな。ただ、休みといっても1日中フリーな日は少なく、半日だけ空いているという日の方が多いですね。

### —幅広くお仕事をされているとやはり忙しいんですね。仕事の息抜きは何をされているのですか？

美味しいものを食べに行くことです！(笑)

お気に入りのお店に行ったり、有機野菜など新鮮なものを食べたり、お気に入りのチョコを食べたり、ハーブティーを飲みながらぼーっとテレビ見たり。

それと、飼っている猫と一緒にお昼寝することが幸せですね(笑)

### —それでは、今の仕事をやっていて嬉しかったこと、失敗したことはありますか？

嬉しかったことだと、やっぱり自分のやったものが気に入ってもらえたり、作品としてできたものが雑誌などのメディアで評価を頂けることです。あとは監督さんから指名でヘアメイクを任せて頂けたりするのも嬉しいなと思います。

失敗したことで言うと、死体のメイクなどをしている時に「もうちょっとこうやれたのにな。」という自分の中での失敗であったり、師匠に「もう少しこうできたんじゃない？」と言われたときですね。あとは出演者が緊張でピリついていて、こちらのタイミングと合わなかったりすると怒られてしまうこともありました。それはその時の自分の反省点にもなりました。

### —お仕事をしている上で会えて嬉しかった人はいますか？

会えて嬉しかった、というか、久しぶりに会っても覚えて頂けたりすることが嬉しいです。以前、デビュー前のSMAPさんにヘアメイクさせていただいたことがあり、その後SMAPさん全員とはお仕事することがなかったのですが、中居君は別の現場で10年ごとぐらいに会う機会があって、その時に覚えていて声をかけてくれたりします。すごく嬉しいですよ。

また、憧れの役者さんとお仕事をさせて頂いた時に、一緒に写真を撮ってもらえるのは嬉しいです。スタッフの特権ですよ(笑)

### —仕事をやる上で意識していること、大変なことはありますか？

「常に自分が良いと思うものをお客様に提供する」ということです。これを日々意識しています。あとは「お客様にとってベストな状態にしてあげられたらいいな」と思って仕事をしています。

ネイルだと、お客様の好みを知ってお客様のイメージ以上の仕上がりを意識したり、ヘアメイクでもイメージをつかんでその人に似合う、魅力を引き出すものを作れるように心がけています。

この仕事を大変だとはあまり思わないですね(笑)

強いて言うとならば、ヘアメイクの荷物が約10kgあるのでそれを持つのが重いということ。それと、ネイルはとても細かい作業で2、3時間かけてやる場合も多いので目が疲れたり肩がこったりします。なので、いかに疲れないようにするかを工夫することも大変ですね。

こちらはサロンで使用している  
自然派化粧品



### —今の仕事が他の事などに役立ったことはありますか？

ヘアメイクだと、身内の結婚式でヘアメイクをしたり、娘にもやってあげられることです。

そして友人へのお祝いやプレゼントとしてネイルをしてあげられたり、家族にマッサージをやってあげられるというところでは役立っていると思います。

### —今はサロン以外でどのようなお仕事をされているのですか？

ちょっと前まではずっとサロンにつめての仕事が多かったのですが、最近はまたヘアメイクのお仕事も増えてきているんです。なので、今はサロンの仕事もしつつ、ヘアメイクの仕事に出かけることも多いですね。例えば、オペラ歌手さんのリサイタルについていたり、ホームページ制作で女優さんのヘアメイクをする際に呼んでいただいたり、声優さんの有料ネット配信の時や、「鍵盤男子」というピアニストのユニットのDVDやライブ・番組収録などのヘアメイクをしています。

### —今後やりたい事、夢を教えてください。

海外に行ったりしたい。

遊びたい、のもあるけど海外で言葉を超えたなにかをできたらいいなって思います。ヘアメイクだったりマッサージだったり・・・。マッサージなら寝ていただくだけなので、そんなに言葉はいらないですし（笑）それで癒しを与えたり、疲れなどを軽くしてあげられたらなと思います。今はストレス社会なので。

現在、社会人は働き方改革がされてきていますが、若い子にもそういう何かが必要だと私は思うんですよ。最近、娘や若い子を見ると「疲れてそうだな」と感じるがあるので。社会に出てからの意識のもっていきかただったり、鬱などにならないような気持ちの持ち方などを機会があればレクチャーしたりして、何か支えになればいいなと思います。

### 最後に中高生に向けてのメッセージを頂きました。

#### —ヘアメイクやネイリストを目指している人に今からでもやっておいた方がいいこと、アドバイスはありますか？

技術は苦手な人でも時間をかけて練習すればできます。

しかし、接客の心だったり、謙虚さなどの気持ちや人としての学びはそうはいきません。学生のうちにちゃんとするといいかなと思います。“美容”というお仕事はすべて人との繋がりから成り立っているものなので、自分から仕事を受けに行くわけではなくて、信頼があるからこそお仕事がもらえると私は考えています。

なので、人との繋がりを大切にしたいほうがいいと思います。

#### —中高生へのメッセージをお願いします。

1年後でもいいし、1か月後でもいいのですが、その頃の自分はこうでありたい、という目安を私は普段からいつも持つようにしています。目安を持っているとなんとなくその方向に向いていけると思うのです。一生懸命がむしゃらに行動することも大事ですが、未来の自分を考えてみた時に、今は何をすべきか、学ぶべきか、どうゆう自分であるべきか、というのを考えてみるといいと思います。

目標設定は小さくても、大きくても構わないのですが、その目標を叶えるためには何をしなければならないのかを考えることそれこそが自分の力になっていくのだと思います。

まあ、思い切れる人はすぐ行動できちゃうんですけどね（笑）少しでも不安要素があるのならまだ引っかかりがある段階だと思うので、それこそとことん考えてみるといいと思います。煮詰まったり悩んだら、考えるより何かしら行動に移した方がいいですよ。



### ～編集後記～

私自身も高校生の頃に美容系に進学しようと考えていたことがあり、今回の取材をととても楽しみにしていました。鈴木さんが言っていた「少し先に自分がこうありたい、という目標を設定して、そうなるためには今何が自分に必要なのか何をすべきなのかを考える」。この言葉にとっても考えさせられました。将来自分は何をしていたいのか、今やるべきことは何か、もう少し考えてこれから行動しようと思いました。

そしてお話を聞いているなかで人との関わりや繋がりによって新しいお仕事に繋がった、などのエピソードも多く、人との関わり、繋がりを大事にしているとそれが後に自分に良いこととして返ってくるのだなと知り、私も今ある人との関わりを大事にし、それをもっと広げていけるようにしていきたいなと今回の取材を通して強く感じました。

いつか機会があれば私も鈴木さんの勤めている「ミジュ・コピーヌ」で施術していただきたいです。

この度はお忙しい中、取材に応じていただきありがとうございました。

目白大学社会学部社会情報学科 久下沼 優香

(取材日 2018年2月20日)